

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月10日(木) 17:20~18:20

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 望月・橋本・関・前田・吉田・水戸・村上・溝本・日比・中村・有賀幸・仲岡・辻・有賀・桑嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	12人	3人	0人	0人	15人

前回の改善計画
ケアマネ、所長が関わりできるだけ細かい情報をサービス開始に向けて、現場に下ろしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
・情報を回覧文書にして全員に伝わったことがわかるように取り組んだ。
・利用開始までに時間がないときもあるが、短期間で可能な限り早めに情報を下ろした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	9	6	0	0	15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	12	3	0	0	15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	14	1	0	0	15
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	12	2	1	0	15

できている点
・新しい利用者の開始時には、各スタッフが心がけて声かけや座席の配置など配慮出来ている。
・通いの難しい利用者(拒否のある方など)には、まず訪問にて慣れてもらうことや、家人送り出しなどその方に応じて、コミュニケーションをとりながら、また家人と連携しながらすすめている。
・サービス開始前に、利用者、家族、ケアマネ、所長が話し合い、その内容を情報共有できている。
・サービス開始初期の段階で、サービスを開始してみたの感想や、生活の変化等を聞き取ることで、本人・家族が安心して過ごすことができているか確認できている。

できていない点
・新しい利用者のそわそわしているなどの様子に、忙しい時間帯では気づけなかったことがある。
・緊急の利用や、即利用開始などで本人の情報が直前になることがある。
・変化が多く、連絡ノートに書き忘れたり、口頭での申し送りが時々あり連絡もれがある。
・新しい情報を早く得るために捺印係を作ったが、回覧できていないスタッフへの声かけを月末にまとめて行っていた為、各スタッフが早期に自分から情報を得るという意識付けにはつながらなかった。

次回までの具体的な改善計画
全員に新しい情報を周知するために、回覧物の捺印チェック係を作ったが、月末にまとめて声かけをしているので、情報が出た都度声かけを行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月10日(木) 17:20~18:20

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 望月・橋本・関・前田・吉田・水戸・村上・溝本・日比・中村・有賀幸・仲岡・辻・有賀・桑嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8人	6人	1人	0人	15人

前回の改善計画

新規の利用者のサービス開始が重なった場合、顔と名前が一致した時点で再度、ケアプランに目を通す。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・必要なケアが多い人はケアプランを何回も見直す、一度目にしただけの人もある。
- ・内容が変わらない利用者については、全員での振り返りをしていなかったことがあるが、変更のある人のケアプランは確認できていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	7	7	1	0	15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	7	7	1	0	15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	7	7	1	0	15
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	11	2	2	0	15

できている点

- ・目標をみながらケアプランに沿って、入浴やコミュニケーションの場の提供を行えている。また利用者の事を把握できるようにしていた。
- ・ケアプランにはできる限り具体的でわかりやすい表現で本人の課題や目標を記載している。実現可能な目標を本人・家族からの聞き取りにより、提案・フィードバックしている。
- ・毎月のミーティングでその方のゴールを皆で共有している。
- ・ケアプランはいつもすぐに確認できる場所にある。

できていない点

- ・勤務が変則的で、速やかにケアプランに目を通せない時もあった。
- ・介護度の低い利用者やおとなしい方との関わる時間が少なく意識が薄くなっていた。
- ・ミーティングで、サービスの確認に時間をとっている。そして、その内容を紙面に残し、いつでも見られるようにしているが、それでも把握することが難しい時もある。更にその人について、話し合う時間を十分にとることはできなかった。

次回までの具体的な改善計画

更新のある利用者は、その日のミーティングまでに、更新の前に全職員がプランに目を通し、それをふまえて「～したい」を目的とした支援が出来ているかを話し合い、次のプランに活かす。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月10日(木) 17:20~18:20

3. 日常生活の支援

メンバー 望月・橋本・関・前田・吉田・水戸・村上・溝本・日比・中村・有賀幸・仲岡・辻・有賀・桑嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	8	7	0	0	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	14	1	0	0	15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	10	5	0	0	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	15	0	0	0	15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	14	1	0	0	15

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始から早い時点で「以前の暮らし方」を10個皆で情報収集できており、いつでも見られる状態にある。 ・体調だけでなく、声にならない声を朝の申し送りやノートへの記録により、日頃から考察でき、意見交換もできている。
--------	--

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・意思表示のできない又はしない利用者のニーズに対応できているのか疑問に思う。 ・利用者の変化に対応して柔軟にサービスを変更出来ているが、情報の変化の速さについていくことが精いっぱいである。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングでのサービス確認に使っている時間を、利用者の声を共有する時間にしていきたい。そのために、ケアプランの更新月の話し合の内容を深めていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月10日(木) 17:20~18:20

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 望月・橋本・関・前田・吉田・水戸・村上・溝本・日比・中村・有賀幸・仲岡・辻・有賀・桑嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	8人	0人	0人	15人

前回の改善計画	民生委員との連携が必要な利用者は、所長、ケアマネが連携をとっていき、情報をスタッフと共に共有していく。新しくサービス開始の際には、近隣や民生委員に挨拶をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣住民の方へは送迎時に挨拶をするよう心がけた。 ・行事や地域の催しへ参加する際に、民生委員やボランティアの名前と顔を一致させ覚えるよう努力した。そして、挨拶を交わし自分も覚えていただくようにした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	6	9	0	0	15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	10	5	0	0	15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	6	9	0	0	15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	5	7	3	0	15

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェや地域の催しに参加することで、けやき台以外の民生委員との繋がりができた。 ・事業所のあるけやき台の自治体の方と日頃から職員もかかわりをもてるようになった。 ・地域での活動に参加できるよう情報共有や支援できている。
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての利用者の住んでいる地域の民生委員や社会資源の把握ができていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員との連携が必要な利用者は、所長、ケアマネが連携をとっていき、情報をスタッフと共に共有していくことは継続する。更に社会資源にはどのようなものがあるのか内容を細かく具体的に現場に伝えていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月10日(木) 17:20~18:20

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 望月・橋本・関・前田・吉田・水戸・村上・溝本・日比・中村・有賀幸・仲岡・辻・有賀・桑嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	12人	2人	1人	0人	15人

前回の改善計画
チラシなどになっていない、地域で活動しているグループの情報なども紙面に残すように、書き込んで綴じるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果
・いきいき100歳体操など地域の活動を把握し、利用者をつなぐことができた。
・社会資源ファイルを活用し情報を共有することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	13	2	0	0	15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	15	0	0	0	15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	14	1	0	0	15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	14	1	0	0	15

できている点
・社会資源ファイルを活用することができた。
・利用者がデイの無い日には、地域の催しや集まりに参加できるよう支援することができた。
・チラシになっていない社会資源の情報も共有することができた。
・ニーズや利用者の体調等に合わせ「通い・訪問・宿泊」がすみやかに変更・提供することができた。日々、情報伝達、共有することができた。

できていない点

次回までの具体的な改善計画

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月10日(木) 17:20~18:20

6. 連携・協働

メンバー 望月・橋本・関・前田・吉田・水戸・村上・溝本・日比・中村・有賀幸・仲岡・辻・有賀・桑嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	15	0	0	0	15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	15	0	0	0	15
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	14	1	0	0	15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	14	1	0	0	15

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との関わりがもてるように業務を行っており、地域からも大切にしてもらっている。 ・サービス関係者と密に連携している。随時サービス担当者会を行っている。
--------	--

できていない点	
---------	--

次回までの具体的な改善計画	
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月10日(木) 17:20~18:20

7. 運営

メンバー 望月・橋本・関・前田・吉田・水戸・村上・溝本・日比・中村・有賀幸・仲岡・辻・有賀・桑嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	13人	2人	0人	0人	15人

前回の改善計画
家族と地域の方、両方が楽しめる広報誌を発行する。
前回の改善計画に対する取組み結果
・行事の様子や事業所の雰囲気がわかるような内容で家族、地域の方両方が楽しめる内容にしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	8	7	0	0	15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	14	1	0	0	15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	15	0	0	0	15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	12	3	0	0	15

できている点
・小学生の下校見守りや、災害時の紙おむつ等の備蓄や車いす用のトイレの使用など三田市との防災協定を結んでいる。その他、年二回自治体のAED講習を地域の防災担当の方に事業所で行ってもらい、避難訓練にも参加してもらっている。事業所内に設置してあるAEDの情報を地域と共有している。 ・家族や地域からの意見を吸い上げ、改善につなげている。それをミーティングなどで共有している。

できていない点
・業務に関する意見は出しあえているが、事業所のあり方についての意見は、求められれば発言している。しかし、自分から積極的に意見を言えていない。

次回までの具体的な改善計画

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月10日(木) 17:20~18:20

8. 質を向上するための取組み

メンバー 望月・橋本・関・前田・吉田・水戸・村上・溝本・日比・中村・有賀幸・仲岡・辻・有賀・桑嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	14	1	0	0	15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	12	2	1	0	15
③	地域連絡会に参加していますか	14	1	0	0	15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	14	1	0	0	15

できている点	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、ヒアリハットや不適合報告書の対策評価を振り返り再発防止に努め、リスクマネジメントに取り組んだ。 地域密着型会議やその他の会議、研修に参加した時には、内容を共有している。又、毎月の勉強会を行っている。 スタッフが資格取得に励んでいる。 利用者と楽しめるようなウクレレや高度な制作物などに力を入れたスタッフもいる。
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> 職場内の研修には参加できているが、個人的なスキルアップ・研修に参加できていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 介護やスキルアップの研修情報を、掲示できるよう専用ボードを作る。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月10日(木) 17:20~18:20

9. 人権・プライバシー

メンバー 望月・橋本・関・前田・吉田・水戸・村上・溝本・日比・中村・有賀幸・仲岡・辻・有賀・桑嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	13人	2人	0人	0人	15人

前回の改善計画
朝の申し送りや会議中は、スタッフの声の大きさをひとつ落とす。利用者が座る席にも配慮し、スタッフ個人が「聞こえている」ということを認識しておく。

前回の改善計画に対する取組み結果
・朝礼や夕方の申し送りは特に意識して行えた。フロアで業務の話をする場面では、必ず事務所に入り話すようになった。話が白熱してきたら、周りが「声！」と、声を落とすようお互いが注意できていた。
・個人ファイルの取り扱い、保管方法などに対して意識を高くもち業務につけるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	15	0	0	0	15
②	虐待は行われていない	15	0	0	0	15
③	プライバシーが守られている	12	3	0	0	15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	14	1	0	0	15
⑤	適正な個人情報の管理ができている	12	3	0	0	15

できている点
・入浴時にカーテンで仕切ってプライバシーに配慮できている。
・個人情報などの外部からの問い合わせや訪問者への対応にもマニュアルが共有されている。また、個人情報の台帳などをフロアにだしっぱなしにしないようにし、鍵付きの棚で保管できている。
・身体拘束になるのかを考え、介護できている。身体拘束をしなくてよいように工夫している。

できていない点
・皆で気を付けているが、朝のバイタル計測中などは時々書類を見えるところに置いてしまう。
・入浴時、脱衣所にて利用者が3名おられるときは、個別にカーテンで区切ることが出来ない時があった。
・「パンツ」と言わずに「おむつ」と言うてしまうことが時々あった。羞恥心を考慮した言い方にかけていた。

次回までの具体的な改善計画
・スタッフによって若干だが、認識が違う点がある個人台帳の取り扱い基準を明確にする。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 紀洋会	代表者	岡本 のぶ子	法人・事業所の特徴	利用者の第二の我が家となるように、家庭的な雰囲気居心地よく安らぎの場を提供することを心がけている。眺めの良い明るい開放的な立地にあり、幼稚園や小学校と隣接している為、登下校の見守り活動や行事を通して地域との関わりを大切にしている。利用者のリクエストや季節に合わせた手作りの料理を提供している。セラピストや音楽療法士が利用者の様子を集団活動や個別支援など継続して関わっている。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 けやきの郷	管理者	橋本 明美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	0人	1人	1人	0人	2人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 館内の掲示物で職員紹介のコーナーを作り、職員の顔と名前を覚えてもらう 申し送り回覧等に捺印欄を作り声かけ係を作る。 次年度も継続していく。	<ul style="list-style-type: none"> 職員の全体写真を掲示している 申し送りや回覧物などを全員が確認できたかどうかを調べる、個々の捺印欄のチェック係を決めた。全員が確認できるよう声掛けを行い情報の共有を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内の介護以外にも目を向けて振り返り対策を練っていることが分かった 職員に変動がない事が分かった 地域との連携もとれている事が分かる。地域での催しで職員を見かけることも多く、地域の人も職員の顔が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> 申し送り、回覧等の捺印欄、チェック係の声かけを次年度も継続していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 園芸や季節の飾り作りを、介護度にあわせて作業してもらえるように工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の利用者のできる作業を理解し、朝の入浴の待ち時間や昼食後の休憩時間を有効に使って作業していた。 	<ul style="list-style-type: none"> 中の道に看板が無いので玄関まで来ないと事業所の名前が分からない。 利用者や家族はけやきの郷を知っているが、知らない人はどんな事業所なのか分からない。 事業所を訪ねたときは利用者も迎えてくれる。いつも事業所は開放されている。 不快な匂いはない。食事を作っている匂いなど、利用者に刺激になっていい。 いつも明るく開放的であるが西日（南側）が入りすぎてカーテンを閉めているのがもったいない。 季節ごとの景色がフロアから見え立地が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 植物で緑のカーテンを植栽することで、カーテンを開けて開放的な空間を作る。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌は毎月の旬な写真と情報を発信していく。 ・利用者懇談会を定期的を開催し、懇談会で出た事や取り入れた事を運営推進会議の中でフィードバックする。利用者の意見に耳を傾け運営に生かしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌は毎月発行し、地域の人への配布や利用者、家族へ旬の写真を発信することができた。 ・懇談会を開催し、行事や食事メニューに意見をとり入れることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での催しで、けやきの郷の職員をよく見かける。 ・ふれあいサロンや認知症カフェなどで専門職として職員が相談を受けたり、地域住民と交流している事を知っている ・フェイスブックで様子を発信している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいサロンや認知症カフェ、地域のクリーンデイの参加を継続する。
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作品展の出展に向けて製作を続けることや広報誌に地域行事参加のお手伝いの案内掲載を継続して地域との交流を希望する方がおられたら、積極的にすすめていく。 また、ご自身の住む地域との関わりをひらえるようにアンテナを張っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の作品展に出店することを目標に制作をし、職員も利用者も励みになっている。作品展の展示会場で出会いがあり、制作ボランティアをお願いすることができた。 ・認知症カフェで他の地域の民生委員とつながりができ利用者の様子と一緒に見守ることができた。 ・けやき台の敬老会に参加できるように、通いの時間中に敬老会会場までの送迎を行った。敬老会の日程を把握し、家族と本人と調整して参加できるようサポートを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者と外出している姿を見る ・全ての利用者の住む地域でのイベントに参加することは難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の住むそれぞれの地域に出向くことは難しい。事業所のある地域との交流を深めていく。 ・介護保険（通いや泊り）を利用し自宅で過ごす時間が減っても、今までの地域の人との関わりが途切れないように気を付けていく。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>運営推進会議で、地域の情報を共有していき、かつ事業所で新しい取り組みをはじめようとする時は、会議の場で報告する。(継続)</p>	<p>困難事例の支援経過などを報告し、助言をもらう場として活用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同居家族の緊急時の搬送の事例から、市で自治体ごとに配布されていた緊急キットを運営推進委員より再配布してもらい近隣のデイと一緒に活用することができた 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方と情報を共有できる会議の場となっている 	<p>運営推進会議で、地域の情報を共有していき、かつ事業所で新しい取り組みをはじめようとする時は、会議の場で報告することを次年度も継続していく。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外の倉庫におむつ類を備蓄しているが、倉庫の鍵は事業所内にある。鍵の置き場所を変更し事業所に入らずに倉庫を開けられるようにする。 ・地域の防災委員とのAED講習と防災の勉強会、避難訓練は継続して行ない、地域の防災訓練にも参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練や安否確認カードの訓練に参加することができた 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画などは、今回のような会議が無いと見る機会はない。 ・防災訓練に地域の防災士の人達との訓練やAEDの講習をしていることは知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練に利用者とともに参加する。 ・事業所職員間で緊急時対応の確認や訓練を行う。